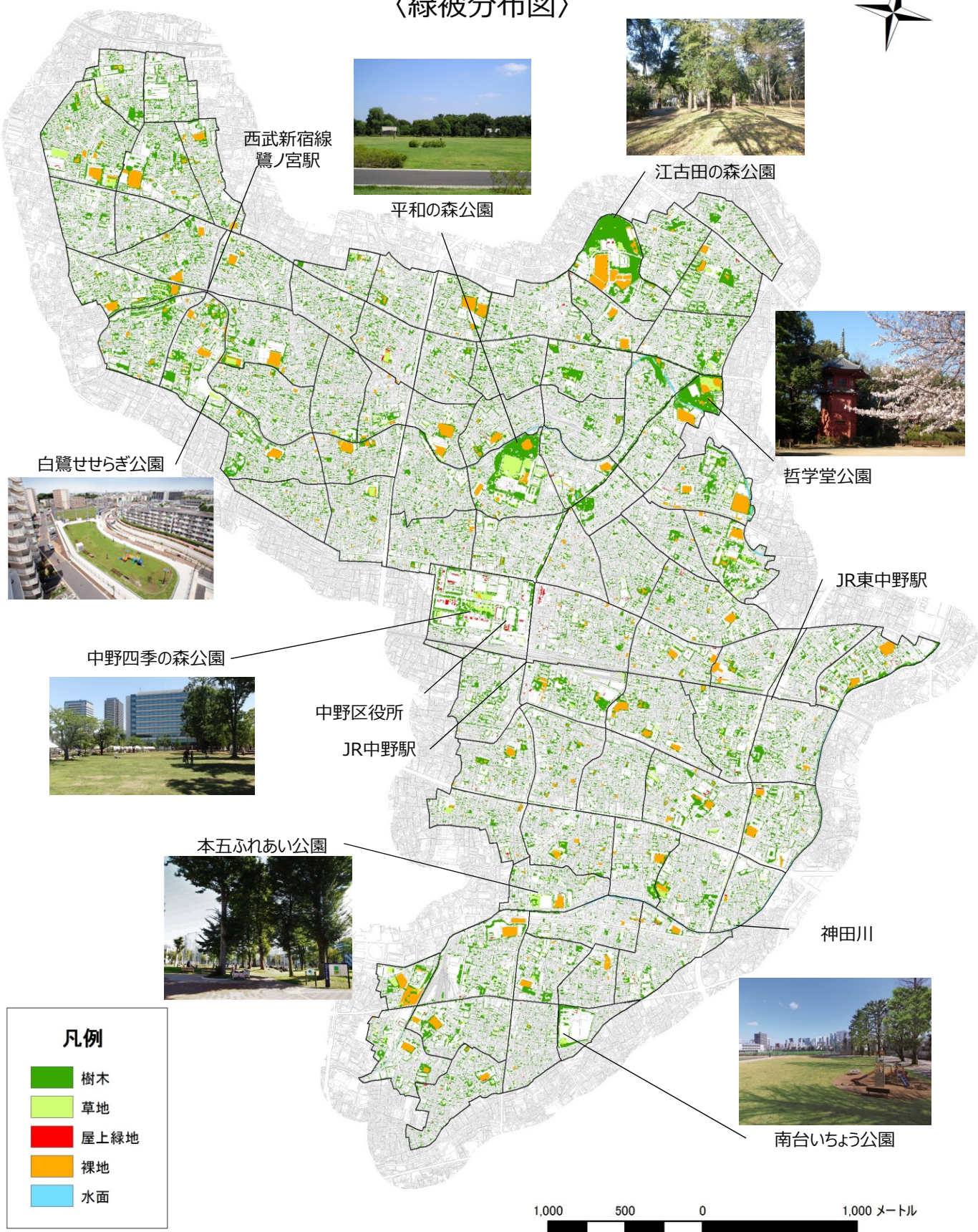


# 中野区の緑の分布

〈緑被分布図〉



## 中野区緑の実態調査（第5次） 概要版 平成28年度

調査は平成28年6月から12月に実施

発行：中野区 環境部 地球温暖化対策担当  
 住所：〒164-8501 東京都中野区中野四丁目8番1号  
 電話：03-3389-1111（代表）  
 URL：<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/>  
 28中環地第2778号

# 中野区緑の実態調査（第5次）概要版（平成28年度）

**緑被率 16.14%**

平成19年度 16.37%

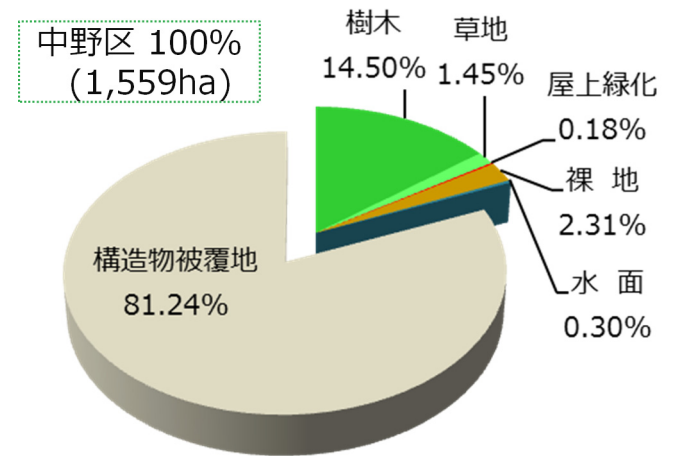
空から地上をながめたとき、樹木や草地などで被われた部分を緑被地といいます。緑被地の割合＝緑被率です。

※緑被率とは・・・緑被地(樹木+草地+屋上緑化)面積の区全体に占める割合

**緑被面積 251.35ha**

平成19年度254.96ha

※緑被面積とは・・・樹木、草地、屋上緑化で覆われている面積



緑被等の構成比

### 緑被の推移

前回調査（第4次）と比較し、緑被率は0.23ポイント減少しています。主な要因は、敷地の広い宅地の開発(マンション等への建替)に伴う中小規模の樹林や樹木の消失によると考えられます。

## 町丁目別の緑被率

緑被率が15%以上の町丁目は、中野区の北側に多くなっています。特に北東地域の平和の森公園、江古田の森公園等の大きな公園のある町丁目の緑被率は25%以上です。

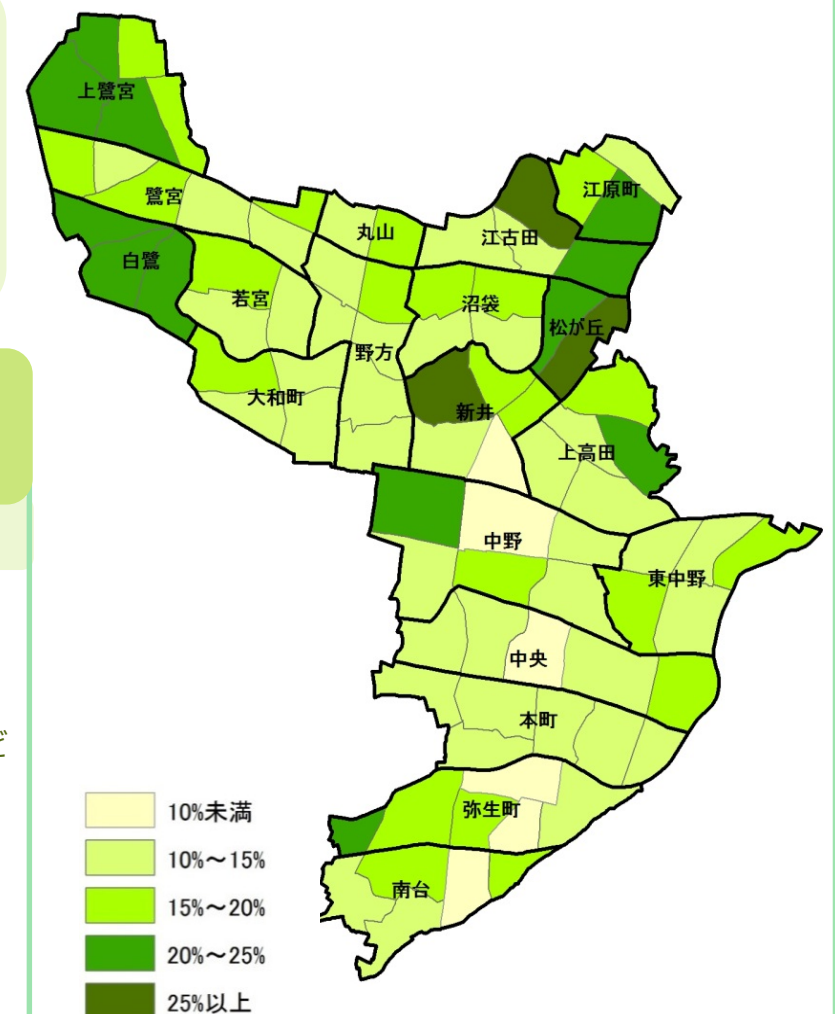
**みどり率 17.46%**

平成19年度 17.54%

### みどり率の推移

敷地の広い宅地の開発により、樹木地が大きく減少しましたが、中野四季の森、白鷺せせらぎ、本五ふれあい、南台いちようなどの大規模公園が新たに開設したため、みどり率は0.08ポイントの減にとどまりました。

※みどり率とは・・・緑被地（樹木+草地+屋上緑化）に河川等の水面の占める面積と公園の緑で覆われていない部分を合わせた面積の区全体に占める割合



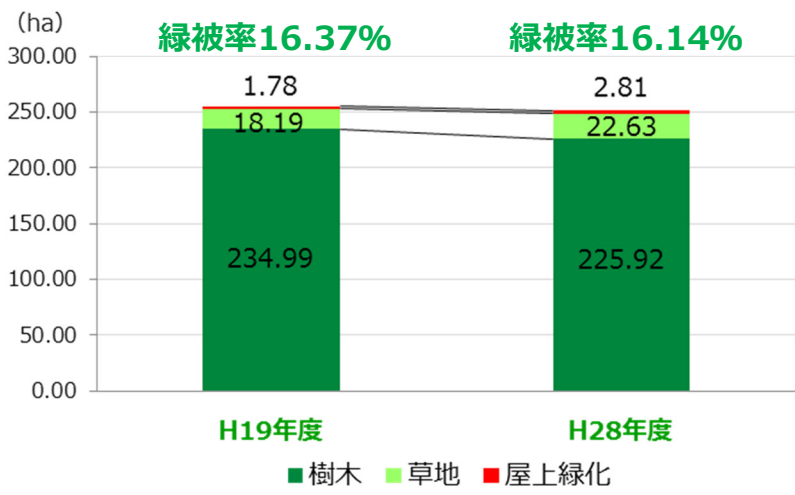


### 緑被率の経年変化 : 緑被率は減少

平成19年度からは、樹木地が減少しましたが、草地と屋上緑化は増加しています。

草地は、新たに芝生化された区立学校の校庭と新設の大規模公園内に多くみられます。

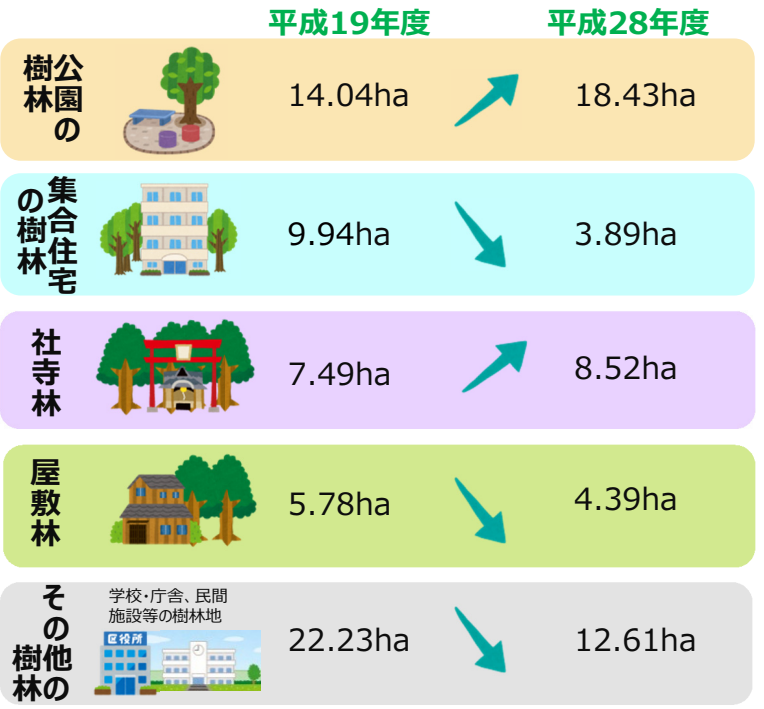
屋上緑化は、中野四丁目等に新たに建設された大規模建築物上に多くみられます。



### 樹林 : 47.83ha 238箇所

【調査対象】樹冠面積が300㎡以上、平均高さ7m以上の樹木の集団

平成19年度 : 59.47ha 306箇所



平成28年度の区全域の樹林は238箇所、47.83haで、これは区全体面積の3.07%に当たります。

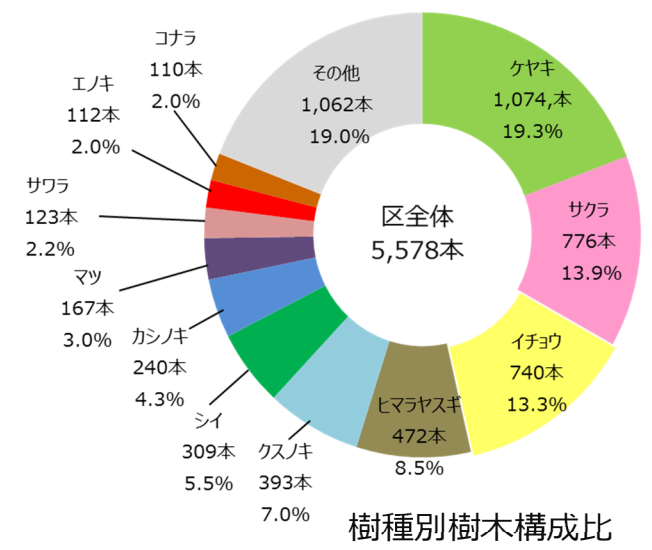
形態別の樹林面積では、公園の樹林が4.39ha、社寺林が1.03ha増加しましたが、集合住宅の樹林、屋敷林、その他の樹林では減少しています。

保護指定樹林についても、この9年間で10箇所、1.95haの解除がありました。民有地の樹林が相続などで大きく減る傾向にあります。



### 大きな樹木 : 5,578本

【調査対象】幹周り1m以上、高さ9m以上 平成19年度 : 6,151本



樹木の生長により新たに確認されたものもありますが、全体数は減っています。幹周り3m以上では17本増えており、巨木は残りやすい傾向があります。

### 壁面緑化 : 4,832㎡ 130箇所

平成19年度 : 3,083㎡ 123箇所

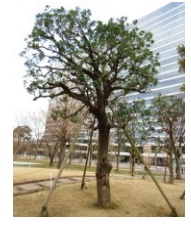
面積は4,832㎡で、1箇所当たりの平均緑化面積は37.2㎡でした。

新たにできた大学等で大規模な壁面緑化が見られ増えています。

### 知っていますか？

昭和54年に緑化推進の区のシンボルとなるものとして区民から募集し決めたものです。

### 区の木 シイ



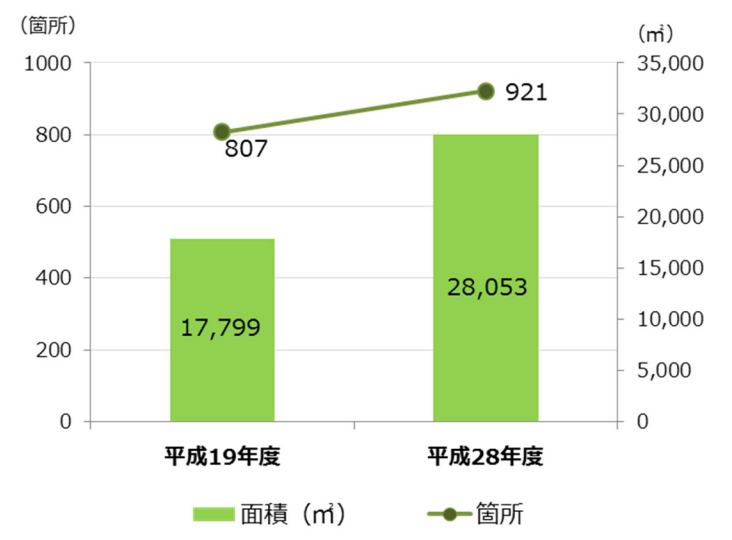
### 区の花 つつじ



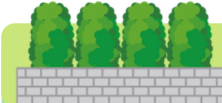
### 屋上緑化 : 2.81ha 921箇所

平成19年度 : 1.78ha 807箇所

区全体の屋上緑化は平成19年度より114箇所、緑化面積は10,254㎡増加しました。大学や小中学校等の教育施設、大規模な商業施設に屋上緑化が多く、1か所あたりの規模も大きいことが確認されています。



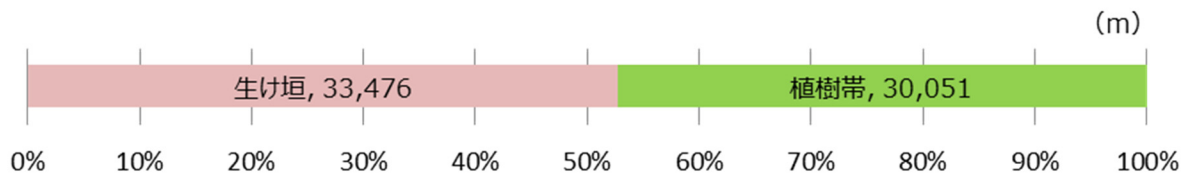
屋上緑化の推移



### 接道部緑化 : 63,527m、6,143箇所

【調査対象】生け垣 : 高さ1.2m以上長さ1.8m以上  
植樹帯 : 高さ1.2m未満長さ1.8m以上

平成19年度 : 59,282m、3,996箇所



接道部緑化（敷地のうち道路に接した部分）の延長は、緑化計画書制度による緑化指導によるところもあり、19年度と比較して4,245m増加しています。

### CO2吸収量 : 3,377t-CO2/年

平成19年度 : 3,467t-CO2/年

区全体の樹木と屋上緑化によるCO2吸収量は、3,377t-CO2/年でした。これは、約1,257世帯分のCO2排出量に相当します。

